

【報道関係各位】【2017年5月22日】

## ヒロセ電機、-40℃から125℃の温度環境、エンジンルーム内の厳しい振動下でも 高い通電品質を保てるコネクタの開発に成功。 ～ “究極の車載品質”という思いを込めた「ZE05」～

ヒロセ電機は、-40℃から125℃の温度環境、エンジンルーム内の厳しい振動下でも高い通電品質を保てる ECU インターフェイス用 050 コネクタ「ZE05」を出荷開始します。  
2017年5月24日～26日「人とクルマのテクノロジー展 2017」で初披露します。

### ● 背景 求められる高熱・振動耐性

今後の自動車産業では、エコカーや自動運転、EV(電気自動車)を支える技術が求められ、使用される部品もエンジンの熱と振動に耐えられる性能が要求されています。さらに、自動車の生涯走行距離をみても10万km以上が当たり前となり、長期間にわたって安全に動くことが求められます。自動車用コネクタについても、従来製品に比して圧倒的な高熱耐性やエンジンからの振動に長期間耐えられるタフさが求められています。

### ● 特徴 熱や振動に耐える“究極”の車載品質を追求

このような需要に応じるために、高熱、振動耐性の2点を判定基準とし、研究と開発を重ねて基準をクリア。高い通電品質を持った新たな製品を3年かけて開発しました。

具体的には、接点部障害の一つ微摺動摩耗という難題解決への挑戦を重ね、できる限り摺動を制御し、一度接合させた接触部を良好な状態で継続できるコネクタを完成させました。

それが、熱や振動に耐える“究極”の車載品質を追求した ECU インタフェース用 050 コネクタ「ZE05」です。Zは、「これ以上ない究極」という思いを込めた製品名です。

#### ECU インタフェース用 050 コネクタ「ZE05」

1. 微摺動摩耗対策によって、-40℃～125℃のサーマルショック試験 3,000 サイクルをスズメッキで達成
2. インバーター内部など、エンジンルームに搭載される機器の厳しい振動条件をパス
3. 050 サイズ、2mm ピッチで低背、省スペース。セットの小型化に貢献

\*ZE05 は、「人とクルマのテクノロジー展 2017」でご覧いただけます。

### ● 今後の取り組み ZE05 の設計思想をベースとした製品展開

今回開発した ZE05 は、現在の EV やハイブリッド車などのパワートレイン系制御システムの要求に耐えうる製品となっています。今後も進化・増加する自動車の電子機器のニーズに応えるため、ZE05 の設計思想をベースに防水対応品、ハイブリッド車対応品への製品展開を検討していきます。

### ● 会社概要、関連情報

■(会社概要)ヒロセ電機株式会社 [https://www.hirose.com/jp/about/corporate\\_data/](https://www.hirose.com/jp/about/corporate_data/)

■(フェア出展)人とくるまのテクノロジー展 2017 <http://go.hirose.co.jp/aeey2017/>

【報道機関からのお問い合わせ】ヒロセ電機株式会社 デジタルプロモーション課 課長：山田理絵

hrs.info.2c@hirose-gl.com TEL:045-620-3575